

JAFTMA

JAPAN FISHING TACKLE MANUFACTURERS ASSOCIATION

令和4年10月31日 発行 第88号



リアル復活!!

オンライン開催も継続。

入場は、すべて
スマートフォン
電子チケット
のみとなります

2023
Premium Night

開催に先がけ、
新製品やメーカー情報を
オンラインサイトにて動画配信!

1.19 Thu.
19:30 スタート



釣りフェスティバル

Fishing Fest. 2023 in Yokohama

リアル会場：みなとみらい パシフィコ横浜

オンラインサイト www.tsurifest.com

1.20 Fri. | 21 Sat. | 22 Sun.

1.20 (Fri.) ▶ 3.5 (Sun.)

*但し、6月までコンテンツ公開



主催：JAFTMA 一般社団法人 日本釣用品工業会
後援：経済産業省・神奈川県・横浜市・
公益財団法人 日本釣振興会・全国釣竿公正取引協議会
協力：公益財団法人 横浜観光コンベンションビューロー
お問い合わせ：釣りフェスティバル運営事務局 E-mail: info@tsurifest.com
TEL: 03-3532-5611 ※平日 10:00～17:30(12:00～13:00、年末年始12/28～1/4除く)

入場料金(税込)
◆大人1名様 前売：1,800円/当日：2,000円
◆ペアチケット 前売：3,400円/当日：3,800円
◆親子ペアチケット 前売：1,800円/当日：2,000円
(保護者同伴の場合、小学生2名まで同時入場可)
※高校生以下・70歳以上は無料(身分証明書提示)
※障害者手帳をご提示いただいた方とその介護者(1名)は無料
※無料の場合でも、チケットで電子チケットでの発券が必要です

電子チケットは11月1日より
チケットで販売開始!!
枚数限定 上限枚数に達しましたら、
販売を終了させていただきます



CONTENTS

第40回理事会開催報告	P.2	釣りフェスティバル2023 出展社説明会開催報告	P.3	LOVE BLUE委員会からの お知らせ	P.4
各委員会・ プロジェクトからのお知らせ	P.6	事務局だより	P.8		

目次

第40回理事会開催報告

第40回理事会は、令和4年9月22日（木）14：00より、オンラインとリアルの併用会議方式で開催し、下記の議案が報告・承認されましたので、概要をお知らせ致します。

議案審議

第1号議案 日釣工の「存在意義」と「ミッション」に関する件

第2号議案 各委員会・PJでの理事（役員）以外の委員に関する件

第3号議案 委員会活動報告に関する件

- (1) JAF実行委員会報告
- (2) LOVE BLUE委員会報告
- (3) 規格・安全委員会報告
- (4) 市場調査委員会報告
- (5) 広報・組織委員会報告
 - ① 広報拡大WG
 - ② 組織強化WG

第4号議案 プロジェクト活動報告に関する件

- (1) 情報収集分析プロジェクト報告
- (2) 海外戦略プロジェクト報告

第5号議案 令和4年度期中収支状況に関する件

第6号議案 会員代表者変更及び入・退会会員に関する件

第7号議案 （一社）日本釣用品工業会名義使用許諾に関する件

第8号議案 会長・専務理事の職務執行状況報告に関する件

第9号議案 その他報告承認事項に関する件

- (1) 日釣工事務局 ライン&スタッフ組織に関する件
- (2) 日本フィッシング会館補修関連&AED設置案に関する件
- (3) 11月24日（木）～25日（金）地方開催 常任理事会・理事会に関する件
- (4) 消費税インボイス制度に関して（連絡事項）



釣りフェスティバル

Fishing Fest. 2023 in Yokohama

～出展社説明会&小間割抽選会～

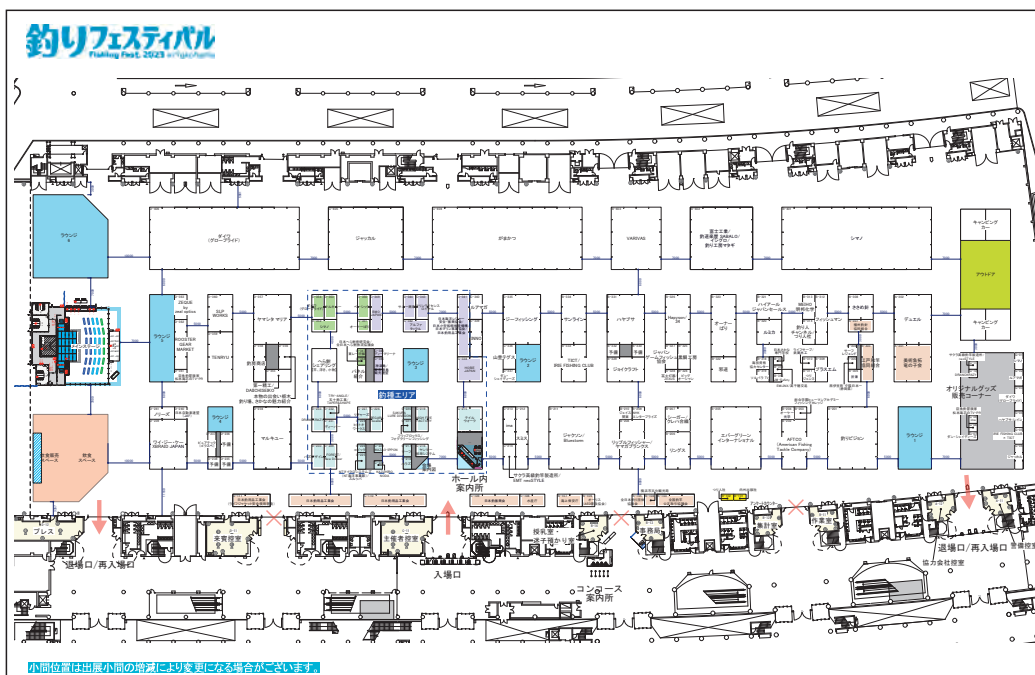
JAF実行委員会（荒井一郎委員長）では、令和4年9月29日（木）に、「釣りフェスティバル2023 in Yokohama」に出展をいただいた企業・団体様（参加：88社/128名）に対し、オンライン形式で「出展社説明会及び小間割抽選会」を開催致しました。JAF実行委員会荒井一郎委員長のご挨拶の後、河原也寸志副委員長より、開催概要及び企画内容についての説明を行い、運営代理店から「出展要項」及び今後のスケジュールについて詳細の説明がありました。コロナ禍での3年ぶりのリアル開催ということで、「出展要項」には、感染対策や規定の変更等があり、参加者の皆様は、熱心に耳を傾けていらっしゃいました。その後の小間割抽選会では、参加者が画面越しに抽選を行い、出展社の小間位置が決定しました。

開催理念

“釣り文化”を創造し、健やかな未来を育む。

多くの釣りファンの熱い期待に応えるために3年ぶりとなるリアル開催の復活を決定いたしました。
リアルとオンラインそれぞれの利点を活かしたシンプルで効率的な構成で、
ユーザーに向けた情報の発信力を最大化します。
ニュースタンダードともいえる新しい時代を迎え、釣り業界が一体となり、釣りファンと共に“釣り文化”を盛り上げ、
釣りフェスティバルの新しい価値と可能性を追求してまいります。
また、新型コロナウイルス感染症予防の観点から万全な運営体制を取り、安心・安全なイベントを開催いたします。

釣りには、自然や生命とのふれあい、道具へのこだわり、家族や友人との交流など、多様な魅力が詰まっています。
世界最先端の技術が生む“釣り文化”を、国内外に発信する絶好の機会でもあります。
メーカーを始め、釣り業界の関係者が互いに協力し、刺激し合いながら、釣り具の“今”を伝え、
釣りにまつわる人・モノ・コトが集まる場をつくります。
業界が思いを馳せる釣りの世界観や釣りの楽しさを「より広く、より深く」発信すると同時に、
“釣り文化”の創造を回り、人々の健康な心と体を育み、
健やかで美しい社会づくりと釣り界の発展につながる取り組みを続けていきます。



LOVE BLUE委員会からのお知らせ

今年度も会員企業の皆様、参加企業・団体の皆様のご理解とご協力のもと、つり環境ビジョンコンセプトに基づくLOVE BLUE事業は、日本全国において公平に優先三事業（水辺をキレイに、サカナを守ろう、フィールドを広げよう）を推進しております。

LOVE BLUEマナー広報

これから釣りを始めようとしている人や釣りを始めたばかりの人（エントリー層）へ。
そして、波及的に釣り人の皆さんへも伝わるように取り組んで参ります。
Huff Post JapanとBuzz Feed Japanで記事等が掲載されますので、是非ご確認ください。

LOVE BLUE プロダイバーによる水中クリーンアップ活動

プロダイバーによる水中クリーンアップ活動は、（7月から9月）では新規実施場所6箇所を含む、1道10県で56日間実施（2022年度累計：1道19県111日実施 9月末現在。）

2022年度も社会情勢などを見極めながら、引き続き、安全作業を最優先に、ご関係の皆様と連携しながら実施して参ります。

7月～9月までの実績

期 間	実施日数	実 施 場 所
7/2～7/5	4日間	北海道泊村 泊漁港
7/8～7/11	4日間	北海道島牧村 千走漁港
7/14～7/15	2日間	北海道松前町 静浦（赤神）漁港
7/16～7/17	2日間	北海道松前町 静浦（静浦）漁港
7/20～7/24	5日間	秋田県八峰町 八森漁港
7/27～7/31	5日間	和歌山県海南市 戸坂漁港
8/3～8/7	5日間	岡山県瀬戸内市 牛窓港
8/19～8/21	3日間	鹿児島県南さつま市 野間池漁港
8/24～8/26	3日間	宮崎県日南市 外浦港
8/28～8/31	4日間	大分県佐伯市 霞ヶ浦漁港
9/3～9/6	4日間	徳島県鳴門市 亀浦漁港
9/9～9/11	3日間	高知県土佐市 宇佐漁港
9/14～9/15	2日間	茨城県茨城町 涸沼
9/18～9/22	5日間	千葉県南房総市 和田漁港
9/25～9/29	5日間	千葉県鴨川市 天津漁港



北海道島牧村 千走漁港



北海道松前町 静浦（赤神）漁港



北海道松前町 静浦（静浦）漁港



秋田県八峰町 八森漁港



千葉県鴨川市 天津漁港

LOVE BLUE専門機関と連携した放流事業

専門機関と連携した放流事業では今年度も引き続き、釣り人の皆様に喜んで頂ける魚種を放流しております。

都道府県	魚種	放流尾数	放流場所	放流日
神奈川県	マダイ	9万8,000尾	間口漁港	7月12日
			横浜ベイサイドマリーナ	7月16日
秋田県	ヒラメ	2万尾	男鹿マリーナ	7月18日
	マダイ	2万尾	北浦漁港	9月2日
			秋田港	9月12日
クロソイ	1万6,500尾	北浦漁港	9月2日	
山口県	マダイ	6万8,000尾	大島漁港岸壁	7月7日
			彦島漁港岸壁	7月12日
			山口県漁業協同組合須佐支店前岸壁	7月20日
			山口県漁業協同組合江崎支店前岸壁	7月21日
長崎県	カサゴ	1万6,000尾	塩山漁港沖	7月28日
			鍋串漁港沖	9月22日
			時津港沖	
熊本県	イサキ	7万6,800尾	二江漁港地先	8月1日
			牛深漁港地先	8月6日
宮城県	ヒラメ	4万1,000尾	桑の浜漁港 塚浜漁港	9月7日
	マコガレイ	8,000尾	谷川漁港 十八也成浜漁港	9月7日



神奈川県 マダイ



秋田県 ヒラメ



秋田県 マダイ・クロソイ



山口県 マダイ



長崎県 カサゴ



熊本県 イサキ



宮城県 ヒラメ・マコガレイ

水産庁後援 つり環境ビジョンコンセプトに基づくLOVE BLUE事業 内水面釣り場拡大事業(ワカサギ)

水産庁後援内水面釣り場拡大事業(ワカサギ)は、本年度も、全国からの応募受付を終了致しました。採択団体が決まりましたら改めてご報告致します。応募要領は水産庁から各都道府県内水面担当部局、全国内水面漁業協同組合連合会から各都道府県内水面漁業協同組合連合会等、さらに、国立研究開発法人水産研究・教育機構 水産技術研究所 環境・応用部門沿岸生態システム部 内水面グループから各都道府県水産試験場へ配布・周知されています。

地球環境基金 企業協働プロジェクト LOVE BLUE助成

独立行政法人環境再生保全機構 地球環境基金と連携したLOVE BLUE助成では、本事業で採択された水辺の環境保全を目的に活動する12団体(2015年度助成開始以来累計34団体)が、各地で活発に活動されています。各団体の皆様からは「LOVE BLUE助成のおかげで、より充実した活動が行えており、釣人の皆様に深く感謝します!」とお喜びのお言葉をいただいております。引き続き、水辺を守る皆様と連携しながら展開して参ります。

規格・安全委員会からのお知らせ

ライフジャケット安全・啓発ワーキンググループ

規格・安全委員会LJWG(高階才文リーダー)では、ライフジャケット着用の啓蒙から点検の重要性を伝えるにあたり、来年1月開催の釣りフェスティバル2023で、ライフジャケットの無償点検並びに、自主点検講習会を実施する予定です。その他にも引き続き、着用の啓蒙や点検の重要性を伝える活動を実施して参ります。

広報・組織委員会 組織強化WGからのお知らせ

会員向け初回無料法律相談の実施

会員の皆様へ、初回無料にて法律相談をご利用頂けるサービスのご提供を行っております。初回無料法律相談の詳細は、別添資料をご覧ください。

広報・組織委員会 広報拡大WGからのお知らせ

広報・組織委員会（櫻井孝行委員長）広報拡大WG（河原也寸志リーダー）では、釣りと親和性の高いアウトドアとの連携施策として、当WGが監修する「あした、釣りいこ！通信」が日本全国の国立公園などで開催されているアウトドアイベントに出展し、釣りの楽しさや魅力をPRしています。

ブース内では、釣りをしてそのあと食べることもできる「キャッチ&イート」、ルアーペインティングやキャストイングを体験できる「つりスクラリー」を開催しております。

今年度は、下記のスケジュールで出展いたしました。

1 OUTDOOR PARK in UMINAKA

会場 福岡市東区 国営海の中道海浜公園

日程 9月23日（金）～25日（日）

2 OUTDOOR PARK in AZUMINO

会場 長野県安曇野市 国営アルプスあづみの公園 堀金・穂高地区

日程 10月1日（土）・2日（日）

3 OUTDOOR PARK in MANNOU

会場 香川県仲多度郡まんのう町 国営讃岐まんのう公園

日程 10月8日（土）・9日（日）

4 TOKYO outside Festival 2022 in SHOWA KINEN PARK

会場 東京都立川市 国営昭和記念公園

日程 10月29日（土）・30日（日）

また、今後、下記のスケジュールで出展いたします。

5 OUTDOOR PARK in SAITAMA

会場 埼玉県比企郡滑川町 国営武蔵丘陵森林公園

日程 11月12日（土）・13日（日）

6 TOKYO outside Festival 2023

会場 東京都新宿区 新宿中央公園

日程 2023年3月中



キャッチ&イート



つりスクラリー キャストイング体験

市場調査委員会の報告

市場調査委員会（岡田信義委員長）では、令和4年度1回目となる「第30回市場調査委員会」を8月26日にオンライン形式で開催し、来年2月発刊の「第26回 釣用品の国内需要動向調査報告書」の調査・編集方針について検討致しました。委員会では、矢野経済研究所フェローの三石氏より、調査・編集方針案が示され、委員会メンバーによる闊達な質疑応答、意見交換がなされました。基礎調査・釣種別調査については、引き続き、前回通りの内容で実施し、トレンド調査については、「ソルトルアー市場」「わかさぎ市場」を継続して調査することと致しました。

消費税インボイス制度 当工業会 適格請求書発行事業者番号について

当工業会では、令和5年10月1日から開始される、消費税の仕入れ税額控除の方式としてのインボイス制度（適格請求書等保存方式）に備え、管轄税務署長に適格請求書発行事業者となるべく申請を行いました。この度、適格請求書発行事業者としての登録が完了いたしましたので、下記の通り番号をお知らせ申し上げます。

当工業会 適格請求書発行事業者番号は
T3010005004298

会員動向

〈会員代表者変更〉

有限会社アングル

新代表者：内野 亨 氏（役職：代表取締役社長）

前代表者：森田 一博 氏

【お詫びと訂正】

前回のJAFTMA NEWS（第87号）会員動向にて株式会社M-ONE様のTEL・FAX番号を誤まって掲載いたしました。

ご迷惑をお掛けいたしましたこと深くお詫び申し上げます。

正しくはTEL072(242)4525 FAX072(242)4526となります。

〈再掲：社名変更及び住所変更〉

新社名：株式会社M-ONE

新住所：〒590-0964 大阪府堺市堺区新在家町東1-1-28

新TEL：072(242)4525 新FAX：072(242)4526

(旧社名：有限会社エムワントレーディング)



事務局 だより

◆日本フィッシング会館では、この冬の新型コロナウイルス感染拡大、インフルエンザの同時流行に備え、引き続き感染症対策として、当会館をご利用の皆様には、検温、マスクの着用及び手指の消毒（手洗い、アルコール消毒）をお願いしております。皆様方のご理解とご協力をお願い申し上げます。

JAFTMA
JAPAN FISHING TACKLE MANUFACTURERS ASSOCIATION

一般社団法人

日本釣用品工業会

〒104-0032 東京都中央区八丁堀2-22-8 日本フィッシング会館5F

TEL 03 (3555) 0101 (代表) FAX 03 (5542) 2929 <http://www.jaftma.or.jp/>